

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	保健（皮膚科学）
履修学年	2年	コース	理容科・美容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	保健教員資格、同時授業教員資格
授業時間数	14	事業方法及び場所	教室 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容師・美容師とかかわりの深い皮膚・毛・爪について、構造、機能に関する科学的、系統的知識を理容技術、美容技術と関連させながら学ばせる。
- ・皮膚疾患に対する基本的知識、予防、注意点を学ぶとともに、理容師・美容師として社会に求められる知識と責任を習得することを目的とする。
- ・国家試験に頻出の内容について詳しく取り上げることで全体の合格率向上を目指す。

2. 学習内容

- ・理容、美容との関係について把握できるように学習させる。
- ・教科書の具体的内容を講義していき、理解度を確認できるようノートまとめを行う。

3. 学習方法

- ・小テストの実施
- ・各編において復習のため総合学習を行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学期末テスト（70点以上であること）により評価する。
- ・学習態度、提出物、小テストで評価する。

教科書	保健（日本理容美容教育センター発行） 美容技術理論1・美容技術理論2 理容技術理論1・理容技術理論2 （日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD ワークブック （日本理容美容教育センター発行）
-----	--	--------------	--

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	総合学習	第1章～第5章までのまとめ 理容師・美容師国家試験過去問題への取り組み
5月	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚疾患の原因と治療法について学習する。 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹について理解させる。 職業性接触皮膚炎への予防と対策について学習する。
6月	皮膚と皮膚付属器官の疾患	第6章5項～11項までのまとめ (オリジナルプリントにて)
7月	総合学習	色素異常による皮膚疾患の特徴を理解させ、 セラピーメイクとの関係性について学習する。 学期末テスト
9月 10月	皮膚と皮膚付属器官の疾患	第6章12項～16項までのまとめ オリジナルプリント・ワークブック活用
11月 12月	皮膚と皮膚付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防について学習する。 毛と爪の疾患について学習する。 皮膚の腫瘍について教科書の鑑別点(参考資料)表をよく理解させる。 ワークブック活用 学期末テスト
1月	総合学習	1年次、2年次まとめ オリジナルプリント・ワークブック活用
2月	総論	国家試験対策 学期末テスト